

仕様一覧

【オーディオ部】

最大出力 (4 Ω) 4チャンネル	150W × 4
3チャンネル	150W × 2 + 600W × 1
2チャンネル	600W × 2
定格出力 (+B = 12.0 V)	
(4 Ω) 4チャンネル	50W × 4 (20 Hz ~ 20 kHz、0.05 % THD)
3チャンネル	50W × 2 (1 kHz、0.05 % THD) + 200W × 1 (1 kHz、0.5 % THD)
2チャンネル	200W × 2 (1 kHz、0.5 % THD)
(2 Ω) 4チャンネル	100W × 4 (1 kHz、0.5 % THD)
定格出力 (+B = 14.4 V)	
(4 Ω) 4チャンネル	75W × 4 (20 Hz ~ 20 kHz、0.05 % THD)
3チャンネル	75W × 2 (1 kHz、0.05 % THD) + 300W × 1 (1 kHz、0.5 % THD)
2チャンネル	300W × 2 (1 kHz、0.5 % THD)
(2 Ω) 4チャンネル	150W × 4 (1 kHz、0.5 % THD)
周波数特性 (+0, -3 dB)	5 Hz ~ 50 kHz
全高調波歪率 (定格出力*)	0.01 % (1 kHz) *入力格低 (MIN)、LRF (30 kHz)
S/N比	110 dB
入力感度 (定格出力)	0.2 V ~ 5.0 V
入力インピーダンス	10 kΩ
ダンピングファクター	200 以上
ローパスフィルター	50 Hz ~ 200 Hz (24 dB / oct.) (連続可変)
ハイパスフィルター	50 Hz ~ 200 Hz (12 dB / oct.) (連続可変)
インフラソニックフィルター	15 / 25 Hz (24 dB / oct.)

【電源部】

電源電圧 (⊖アース)	12.0 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	42 A (4 Ω、+B = 12.0 V、10 % THD)

【寸法・重量】

外形寸法 (W × H × D)	272 × 64 × 380 mm
質量 (重さ)	7.1 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
(土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

4チャンネル パワーアンプ

KAC-PS501F

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION
© PRINTED IN MEXICO B64-1445-00 (JM)

CONTENTS

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
取り付け方法	6
付属品	
取り付け時のご注意	
インジケーター	7
プロテクション機能について	
操作方法	8
B.M.S. (バスマネージメントシステム)	10
接続のしかた	12
端子の名称	
接続手順	
電源コードの配線について	
ライン(RCA)入力の接続	
スピーカーの接続 (ステレオ接続/ブリッジ接続)	
接続するスピーカーについて	
電源の接続	
コントロール端子の接続	
システム例	17
フルレンジ4チャンネル+サブウーファー システム	
ハイパワー フルレンジ2チャンネル システム	
ハイパス+サブウーファー システム	
故障かな?と思ったら	18
保証とアフターサービス	19
仕様一覧	20

本取扱説明書のイラストは説明用に作成したものです。
実際とは異なることがあります。

安全上のご注意

ご使用の皆様へ

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。（左図の場合は分解・改造を禁止するという意味です。）



実施

Ⓜ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



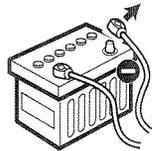
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



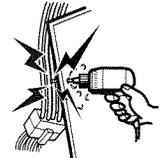
実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用しないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



実施

事故防止のため、ネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

安全上のご注意



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない ●異物が入った
- 水がかかった ●煙が出る
- 変な匂いがする



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

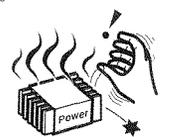
注意



カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



パワーアンプの使用中は、表面の放熱部分に触れないでください。



製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

本機の取り付け・配線について

本機の電源はDC12V・マイナス接地となっています。これ以外の電源供給は行わないでください。

取り付け・配線を始める前に、ショート事故防止のためバッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーのマイナス端子は、すべての作業が終了後に接続してください。

電源コードは、接続するユニットの最大消費電流を十分に流せるものを使用してください。細いコードを使用すると火災などの事故につながりますのでご注意ください。(別売品の電源チェーンアップケーブル "CA-B66" を2本お使いください。)

コントロールケーブルを延長するときは、ケーブルの劣化や被覆の破損を防ぐため車載用配線ケーブルを使用してください。

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、ほこりの多い場所への取り付けは避けてください。

取扱説明書どおりの取り付け・配線がされていない場合“無料修理規定”に準じた保証ができないことがありますので、本書をよくお読みになったうえで作業を行ってください。

システムを接続するときは

組み合わせるシステムに合わせて本機の入力感度調整 (INPUT SENSITIVITY) ツマミを調整してください。

ケンウッド製以外のシステムに接続すると電源のオン/オフができないことがあります。

ヒューズが切れたときは

ヒューズが切れたときは、各コードがショートしていないことを確認して、もとのヒューズと同じ容量の新しいヒューズと交換してください。(20A×4本)

指定以上の容量のヒューズを使用すると、火災などの事故につながりますのでご注意ください。

セットの異常にお気づきのときは

万一セットの異常にお気づきのときは、バッテリーから本機のマイナス配線を外し、そのままの状態で購入店、またはケンウッドサービスセンター・営業所へご連絡ください。

本機をご使用中は

本機の使用中はセット表面温度が高くなり、不用意に触ると火傷をすることもありますのでご注意ください。

ショートなどの事故を防ぐため、本機の内部に金属片や水が入らないようご注意ください。

RCAケーブルについて

RCAケーブルは外部雑音の影響を受けやすいので、雑音発生源となる車両側電装品やハーネスなどの近くを避けて配線してください。雑音が気になるときは2重シールドのRCAケーブル(別売品)をご使用ください。

セットのお手入れについて

本機の表面・パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のもので拭きますと、傷がついたり文字が消えたりすることがありますのでご注意ください。

取り付け方法

▶ 付属品

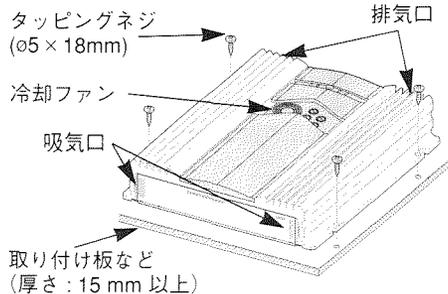
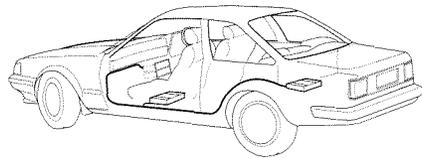
外形			
部品名 × 数量	アースコード (黒) (1m) × 1	タッピングネジ (φ5 × 18mm) × 4	端子カバー (電源端子用) × 1

▶ 取り付け時のご注意

以下の場所には取り付けしないでください。

- 不安定な場所 ●運転操作の妨げになる場所 ●水のかかる場所 ●ほこりの多い場所
- 高温になる場所 ●直射日光のあたる場所 ●熱風のあたる場所

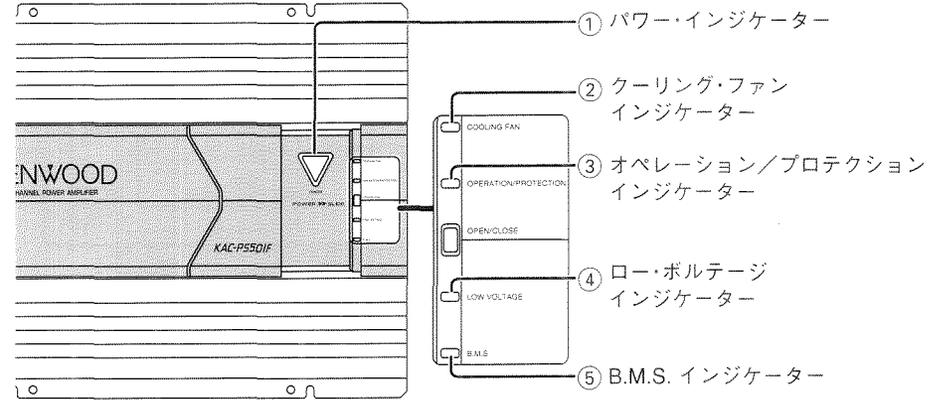
- !** ●本機を使用中は本機の表面温度が高くなりますので、人体や樹脂などの熱に弱い物に触れる場所には取り付けしないでください。
- 実施** ●本機をカーペットの下には取り付けしないでください。放熱が正常にできなくなり、故障の原因になります。
- 本機は放熱の良い場所に取り付け、また上に物などを置かないようにしてください。
 - 天面のスライドパネルが開閉しますので、天面に物などが当たらないようにして下さい。
 - 内部温度を下げるために冷却ファンがあります。取付の際は、冷却ファンの穴をふさがないようにしてください。冷却ファンの穴をふさぐと温度を下げるができなくなり、故障の原因になります。
 - シート下やトランクルーム内などに穴をあけるときは、裏側にガソリタンクやブレーキパイプ、ワイヤーハーネスなどが無いか確認し、傷などを付けないようご注意ください。
 - ダッシュボードやリアトレイ、エアバッグなど保安部品の近くには取り付けしないでください。
 - 車両への取り付けは、運転の妨げにならない場所に確実に固定してください。衝撃で外れた際に人体や保安部品に当たり、怪我や事故の原因になります。
 - 取り付け終了後に車のブレーキランプ、ウinker、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。



- パワーアンプには頻繁に操作する部分が多く、運転席から離れた所に取り付けても支障ありません。一般的な取り付け場所としてはトランクルームが適しています。
- センターユニットとパワーアンプ、またはパワーアンプとパワーアンプの接続には、取り付け場所によって長さが選べる別売のRCAケーブルをご使用ください。

	2m	5m
L型RCAケーブル	CA-22SL	CA-52SL
2重シールドL型RCAケーブル	CA-23WL	CA-53WL
4チャンネルRCAケーブル	—	CA-54W

インジケーター



① **POWER**
パワー・インジケーター
本機の電源がオンになると点灯します。

② **COOLING FAN**
クーリング・ファン・インジケーター
本機の内部温度が上がると自動的にスライドパネルが開き冷却ファンが作動します。また、スライドパネルを開くと冷却ファンが作動します。冷却ファンが作動中はクーリングファンインジケーターが点滅します。

③ **OPERATION/PROTECTION**
オペレーション/プロテクションインジケーター
正常に電源がオンになると点灯します。プロテクション機能が動作すると点滅します。

❖ **プロテクション機能について**
本機には、いろいろな事故やトラブルから本機やスピーカーを守るため、プロテクション機能が搭載されています。プロテクション機能が働くと本機の機能は停止します。

- オペレーション/プロテクションインジケーターが点滅したとき
 - スピーカーコードがショートしたとき。
 - スピーカー出力が車両のアースに接触したとき。
 - 内部部品が120℃以上になったとき。
 - 本機のヒューズが切れたとき。
 - 本機が故障して、スピーカー出力に直流電圧が発生したとき。

- パワーインジケーターとオペレーション/プロテクションインジケーターが消灯したとき
本機のヒューズが切れたとき。

④ **LOW VOLTAGE**
ロー・ボルテージ・インジケーター
電源電圧が11V (ボルト) 以下になると点灯します。減電後電源電圧が復帰すると点滅して減電状態になったことを知らせます。点滅回数が減電状態になった回数を知らせます。(最大10回)

アドバイス

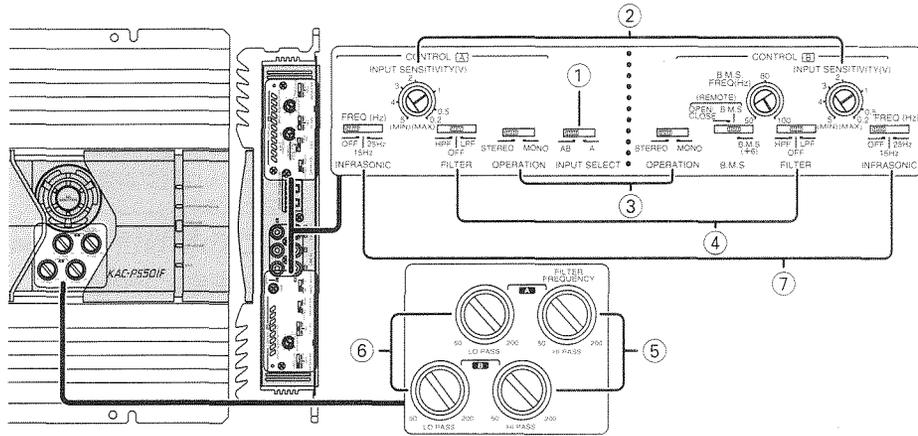
- 下記の原因が考えられます。
- 車両のバッテリーが弱くなっているとき。
 - 車両のバッテリーの容量が小さい。
 - バッテリーコードが劣化しているとき。
 - バッテリーコードが細いまたは長すぎて電力を十分に供給できないとき。

⑤ **B.M.S.**
B.M.S. インジケーター
B.M.S.でバスブーストをオンにすると点灯します。(⇒ 10ページ参照)

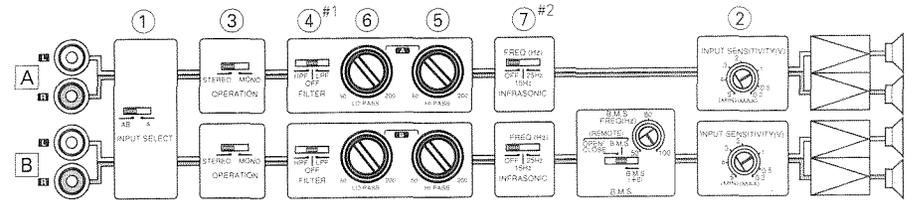
アドバイス

②～⑤のインジケーターが順番に点灯したり同時に点滅している場合はデモモードになっています。オープン/クローズボタンを押してデモモードを解除してください。

操作方法



ブロックダイアグラム



- #1 FILTERをLPFに設定するとモノラル (L+R) 音になります。
- #2 INFRASONICを15 Hzまたは25 Hzに設定するとモノラル (L+R) 音になります。
- * 但し、OPERATIONをMONOに設定しているとLchモノラルのままです。

① INPUT SELECT
インプットセクタースイッチ
このスイッチでAアンプ、Bアンプで増幅する信号の入力方法が選べます。

- **[A] [B]** ポジション
Aアンプ、Bアンプそれぞれに入力された信号を増幅します。
- **[A]** ポジション
Aアンプ側に入力された信号をAアンプ、Bアンプ両方で増幅します。(Bアンプ側から入力された信号は出力されません。)

② INPUT SENSITIVITY
入力感度調整ツマミ
本機に接続するセンターユニットのプリアウトレベルに合わせて調整します。インプットセクタースイッチの位置に関係なく、Aアンプ、Bアンプそれぞれに調整できます。

アドバイス

プリアウトレベルはセンターユニットの取扱説明書の“仕様一覧”のページを参照してください。

③ OPERATION
オペレーションスイッチ
このスイッチでアンプの増幅方法が選択できます。

- **STEREO**
ステレオポジション
入力された左右の信号を個別に増幅します。ステレオアンプとして使用するときは、“STEREO” ポジションにします。

- **MONO**
モノラルポジション
Lch側から入力された信号のみを増幅します。大出力のモノラルアンプとして使用したいときは、“MONO (Lch)” ポジションにしてブリッジ接続にしてください。(Rch側から入力された信号は出力されません。)

④ FILTER
フィルタースイッチ
スピーカー出力にハイパス/ローパスフィルターをかけることができます。

- **OFF**
オフ ポジション
全帯域を出力します。
- **HPF**
ハイパスフィルター ポジション
ハイパスフィルター周波数調整ツマミの周波数より高い帯域を出力します。
- **LPF**
ローパスフィルター ポジション
ローパスフィルター周波数調整ツマミの周波数より低い帯域を出力します。スピーカー出力が自動的にモノラル (L+R)音になります。

⑤ HI PASS FILTER FREQUENCY (50~200 Hz)
ハイパスフィルター周波数調整ツマミ
フィルタースイッチをHPF(ハイパスフィルター) ポジションに切り替えたとき、カットする周波数が調整できます。

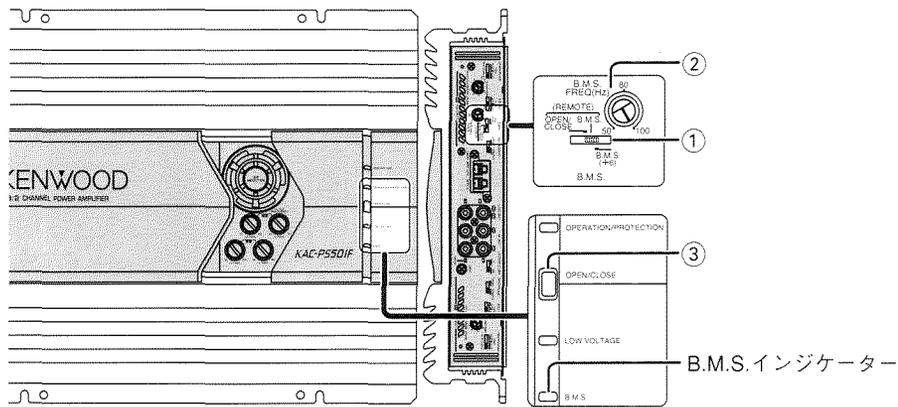
⑥ LO PASS FILTER FREQUENCY (50~200 Hz)
ローパスフィルター周波数調整ツマミ

フィルタースイッチをLPF(ローパスフィルター) ポジションに切り替えたとき、カットする周波数が調整できます。

⑦ INFRASONIC FREQ (OFF/15 Hz/25 Hz)
インフラソニックフィルタースイッチ

このスイッチを15 Hz、25 Hzに切り替えると、それぞれの周波数以下をカットするようになります。音にならない不用振動が無くなり、スピーカーの再生能力が向上します。また、スピーカー出力が自動的にモノラル(L+R)音になります。

B.M.S. (バス・マネージメント・システム)



▶ 本機を外部から操作しない場合

- ① **B.M.S. B.M.S.スイッチ**
B.M.S.周波数調整ツマミの周波数を中心にバスブーストします。
Bアンプのみバスブーストします。
- (REMOTE) OPEN/CLOSE リモート オープン/クローズ または
 - (REMOTE) B.M.S. リモート B.M.S. ポジション バスブーストしない。

バスブースト	スライドパネル
フラット(オフ)	オープン/クローズボタンで操作

- B.M.S. (+6) B.M.S. (+6) ポジション 6dBバスブーストします。
B.M.S.インジケーターが点灯します。

バスブースト	スライドパネル
+6 dB (オン)	オープン/クローズボタンで操作

- ② **B.M.S. FREQ. (50~100 Hz) B.M.S.周波数調整ツマミ**
B.M.S.スイッチをB.M.S. (+6) ポジションに切り替えたとき、強調する中心周波数を調整できます。

- ③ **OPEN/CLOSE オープン/クローズボタン**
押すたびにスライドパネルが開閉します。

アドバイス

- スライドパネルのスライド動作中に障害物などに当たるとスライド動作が停止します。障害物などを取り除いてからもう一度オープン/クローズボタンを押してください。
- スライドパネルが開いている状態で、センターユニットの電源をオフまたは車両のエンジンキーをオフにするとスライドパネルは自動的に閉まります。次回電源をオンまたは車両のエンジンキーをオンにしたときに元の開いた状態に戻ります。
- B.M.S.スイッチを (REMOTE) に切り替えると"EXT.AMP.CONT./EXT.CONT."端子を接続してなくてもリモート動作の準備のためにスライドパネルが開まります。



スライドパネルのスライド動作中に指などを挟まないようご注意ください。

▶ 本機をセンターユニットから操作する場合

センターユニットからバスブースト量やスライドパネルの開閉をコントロールすることができます。また、パワーアンプを最大3台まで同時に同じ設定にできます。

アドバイス

1999年以降発売のケンウッド製センターユニットで"EXT.AMP.CONT./EXT.CONT."端子が付いている機種で操作できます。センターユニットの操作方法はセンターユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。(センターユニットにより設定状態の表示が異なります。)

- ① **B.M.S. B.M.S.スイッチ**
センターユニットからのコントロール範囲を選択します。
Bアンプのみバスブーストします。
バスブーストをオンにするとB.M.S.インジケーターが点灯します。
- (REMOTE) OPEN/CLOSE リモート オープン/クローズポジション バスブーストせずにセンターユニットでスライドパネルの開閉のみが操作できます。

センターユニットの設定状態	バスブースト	スライドパネル
Flat / OFF / 1	フラット(オフ)	クローズ
+6 / 1 / 2	+6dBまたは+12dBを選択するとスライドパネルが開きます。	オープン
+12 / 2 / 3		

- (REMOTE) B.M.S. リモート B.M.S. ポジション センターユニットの操作によりバスブーストをフラット/+6dB/+12dBの3段階で選択できます。+6dBまたは+12dBを選択するとスライドパネルが開きます。

センターユニットの設定状態	バスブースト	スライドパネル
Flat / OFF / 1	フラット(オフ)	クローズ
+6 / 1 / 2	+6 dB (オン)	オープン
+12 / 2 / 3	+12 dB (オン)	

- B.M.S. (+6) B.M.S. (+6) ポジション センターユニットからの操作に関係なく6dBバスブーストします。

センターユニットの設定状態	バスブースト	スライドパネル
Flat / OFF / 1	+6 dB (オン)	オープン/クローズボタンで操作します。
+6 / 1 / 2		
+12 / 2 / 3		

- ② **B.M.S. FREQ. (50~100 Hz) B.M.S.周波数調整ツマミ**
B.M.S.で強調する中心周波数を調整できます。

③ OPEN/CLOSE オープン/クローズボタン

- B.M.S.スイッチがB.M.S. (+6) ポジションのときは、押すたびにスライドパネルが開閉します。
- B.M.S.スイッチを(REMOTE)ポジションに切り替えると、センターユニットがスライドパネルを制御します。スライドパネル内の調整ツマミを調整する場合は、オープン/クローズボタンを押すと一時的にスライドパネルを開閉することができます。

アドバイス

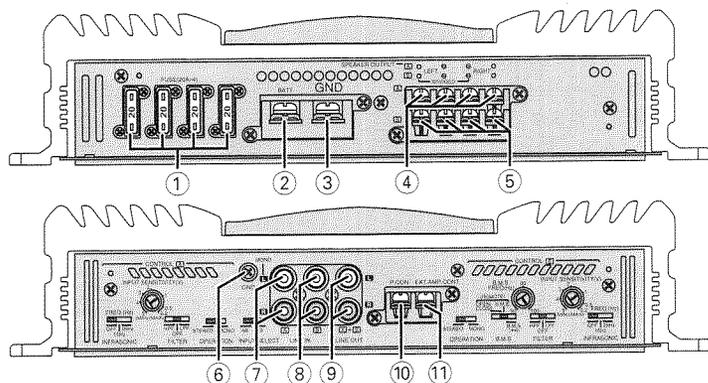
- スライドパネルのスライド動作中に障害物などに当たるとスライド動作が停止します。障害物などを取り除いてからもう一度オープン/クローズボタンを押してください。
- B.M.S.スイッチが (REMOTE) ポジションのときにオープン/クローズスイッチでスライドパネルを開閉しても、センターユニットの操作を行うとスライドパネルはセンターユニットの設定状態に戻ります。
- スライドパネルが開いている状態で、センターユニットの電源をオフまたは車両のエンジンキーをオフにするとスライドパネルは自動的に閉まります。B.M.S.スイッチの状態により次回電源をオンまたは車両のエンジンキーをオンにしたとき、スライドパネルは下記のようになります。
 - (REMOTE) ポジションのときはセンターユニットの設定状態になります。
 - B.M.S. (+6) ポジションのときは元の開いた状態に戻ります。



スライドパネルのスライド動作中に指などを挟まないようご注意ください。

接続のしかた

▶ 端子の名称



① FUSE
ヒューズ (20A × 4)

② BATT
電源端子

③ GND
アース端子

④ A SPEAKER OUTPUT
Aアンプスピーカー出力端子

⑤ B SPEAKER OUTPUT
Bアンプスピーカー出力端子

※ スピーカー出力の接続について

• **ステレオ接続**
ステレオアンプとして使用したいときは、ステレオ接続にします。
接続するスピーカーは、2Ω以上のスピーカーを使用してください。また、複数接続する場合は、合成インピーダンスがそれぞれ2Ω以上になるようにしてください。

• **BRIDGEDブリッジ接続**
大出力のモノラルアンプとして使用したいときは、ブリッジ接続にします。(スピーカー出力端子のLch⊕とRch⊖端子に接続してください。)

接続するスピーカーは、4Ω以上のスピーカーを使用してください。また、複数接続する場合は、合成インピーダンスが4Ω以上になるようにしてください。

! スピーカーの定格入力がアンプの最大出力より大きいものを使用してください。小さいと故障の原因になります。

⑥ RCAケーブル用GND端子

⑦ A LINE IN
Aアンプライン入力端子

⑧ B LINE IN
Bアンプライン入力端子

⑨ LINE OUT
ライン出力端子

Aアンプ、Bアンプそれぞれに入力された信号を複合し出力します。
オペレーションスイッチ、インプットセレクタースイッチの位置に関係なく、常にA+Bのステレオ音が出力されます。

⑩ P.CON
パワーコントロール端子

本機の電源のオン/オフをコントロールします。

⑪ EXT.AMP.CONT.
外部アンプコントロール端子

B.M.S.をコントロールします。(⇒ 10ページ参照)

▶ 接続手順

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

ご使用に合わせた接続や各スイッチの設定がありますので、取扱説明書をよく読み、正しい接続や設定を行ってください。接続や設定が間違えていると、ノイズや音の出ない原因になります。

1. ご使用に合わせて各スイッチの設定をします。
2. センターユニットなどの入・出力ケーブルを接続します。
3. センターユニットと本機を、ご使用に合わせて接続します。
4. スピーカーコードを接続します。
5. 電源コード、パワーコントロールコード、アースコードの順番に接続します。
6. 各ユニットを車に取り付けます。
7. バッテリーのマイナス端子を接続します。
8. 電源を入れ、正常に音が出ることを確認します。

! 正常に音が出ない場合は、すぐに電源を切り接続を確認してください。

! 各スイッチの設定を替えるときは、電源をオフしてから行ってください。

! ヒューズが切れたときはコード類がショートしていないか確認後、同じ容量のヒューズと交換してください。

! 接続しないケーブルや端子はショート事故を防ぐため、ケーブルや端子に付いているキャップは外さないでください。(絶縁処理をしてください)

! スピーカーコードはそれぞれに対応するスピーカー端子に、別々に接続してください。スピーカーのマイナスコードを共通にしたり、車の金属部分に接続するとユニットの故障の原因になります。

! 取り付け終了後、車のブレーキランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することをご確認ください。

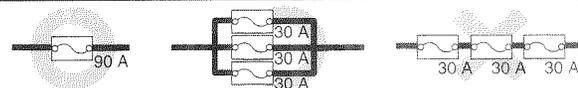
! 電源コードは、別売の電源チューンアップケーブル"CA-B66"を2本使用しバッテリーから直接接続してください。電装用のバッテリーコードに接続すると車両のヒューズが切れる原因になります。

▶ 電源コードの配線について

- エンジンをかけて“ヒューン”という雑音が発生するときは、別売のラインノイズフィルター(CN-610)を電源コード間に接続してください。
- グロメットを使用して、コードが板金のエッジに触れないようにしてください。
- アースコードはバッテリーのマイナスと通電している車両の金属部分に接続してください。アースが確実に接続されていないときは、電源が入りません。
- 電源コードには、バッテリーの近くに保護用ヒューズを必ず取り付けてください。保護用ヒューズの容量は、本機のヒューズ容量に10A位をプラスしたヒューズを使用してください。
- 電源コードやアースコードは、車載用(難燃性)の電源配線コードを使用してください。電源配線コードの電流容量は、保護用ヒューズ容量に10A位をプラスした(本機のヒューズ容量プラス20A位)電源配線コードを使用してください。
- パワーアンプを数台使用する場合は、電源配線コードや保護用ヒューズの電流容量が各アンプの最大消費電流の合計電流より大きいものを使用してください。

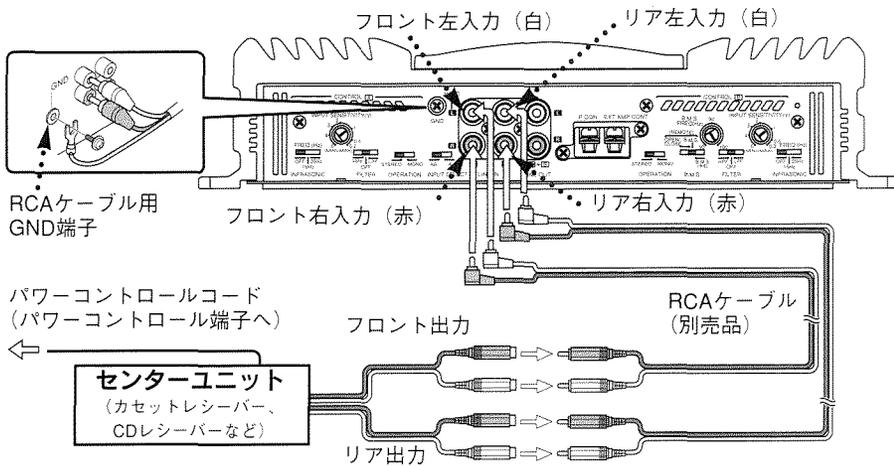
例) パワーアンプが1台の場合

ヒューズ容量	保護用ヒューズ	電源配線コードの断面積(AWG/AV)
80 A	90 A × 1 [30 A × 3]	10 mm ² (AWG8) 以上 × 1 [5 mm ² (AWG10 / AV5) 以上 × 2]
	または、電源チューンアップケーブル "CA-B66" × 2	



接続のしかた

▶ ライン (RCA) 入力の接続



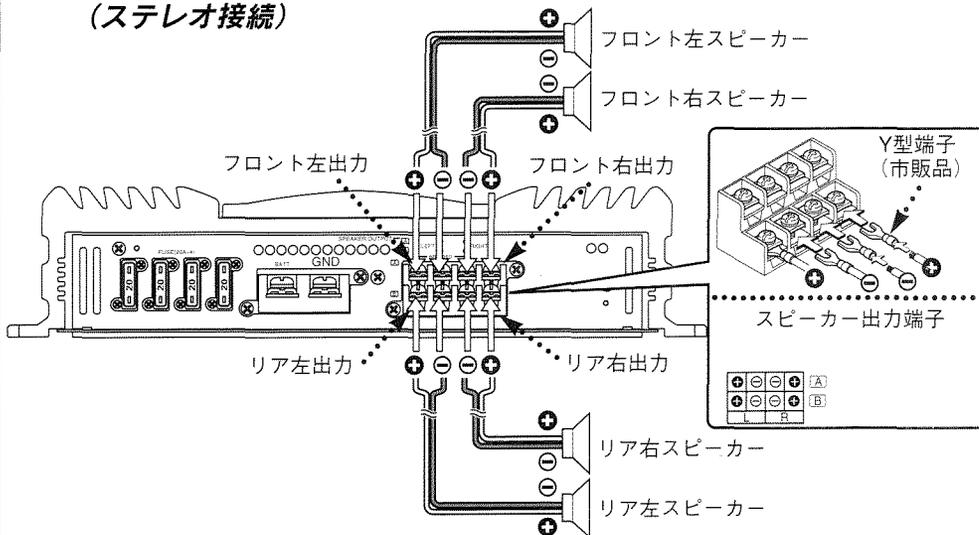
RCAケーブル用GND端子

アースリード付きのRCAケーブルを使用するときは、この端子にアースリードを接続してください。

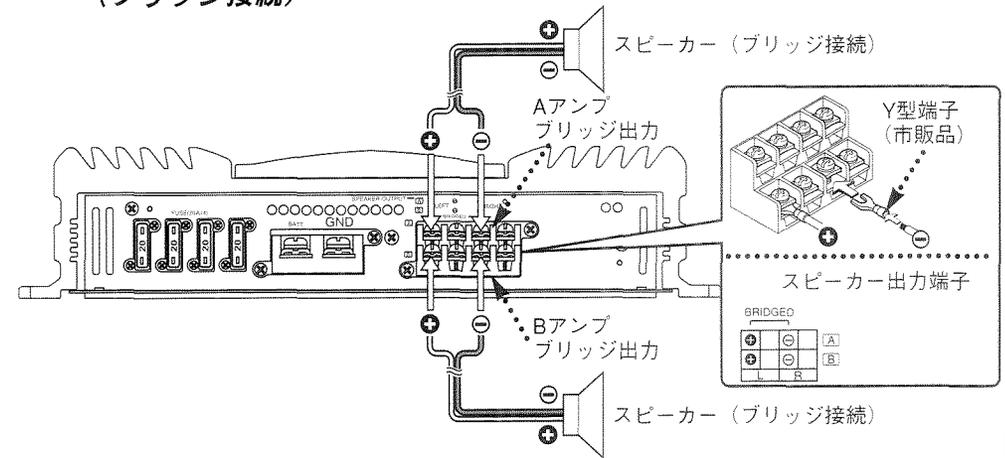


RCAケーブル用GND端子は、電源用のGND端子ではありません。
電源コードまたはアースコードをこの端子に接続すると、故障の原因となります。

▶ スピーカーの接続 (ステレオ接続)



(ブリッジ接続)

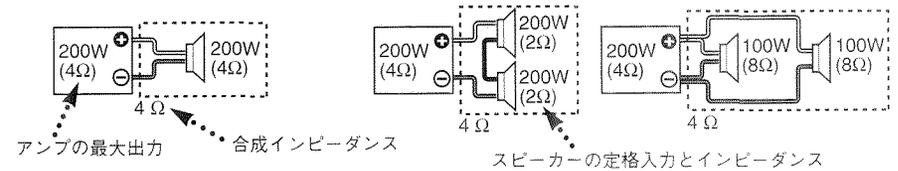


▶ 接続するスピーカーについて

- 接続するスピーカーの定格入力、本機の最大出力 (ワット数) より大きいものを使用してください。スピーカーの入力が本機の出力より小さいと発煙、故障の原因になります。
- 接続するスピーカーのインピーダンスは、 2Ω 以上 (ステレオ接続時) または、 4Ω 以上 (ブリッジ接続時) を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと適切な接続で使用してください。

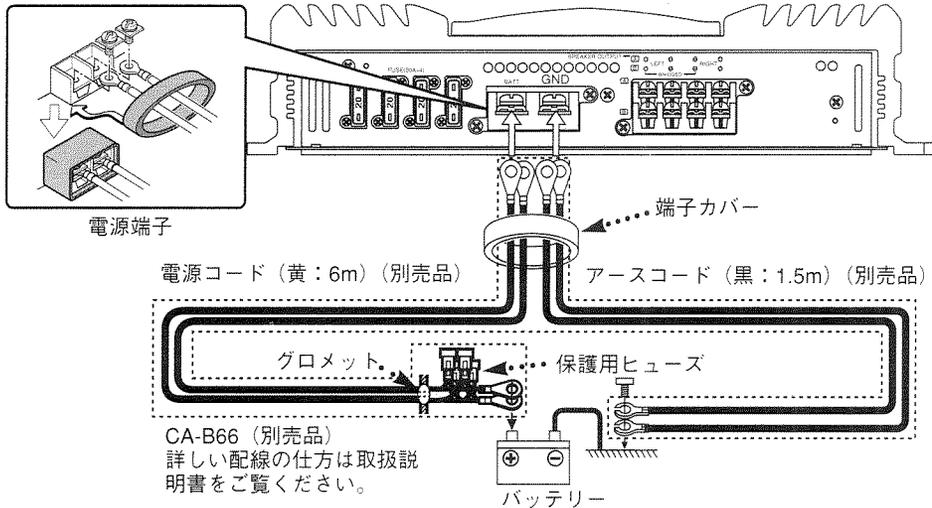
例)

ステレオ接続 (4Ω)	ブリッジ接続 (4Ω)
200 W 以上	600 W 以上



接続のしかた

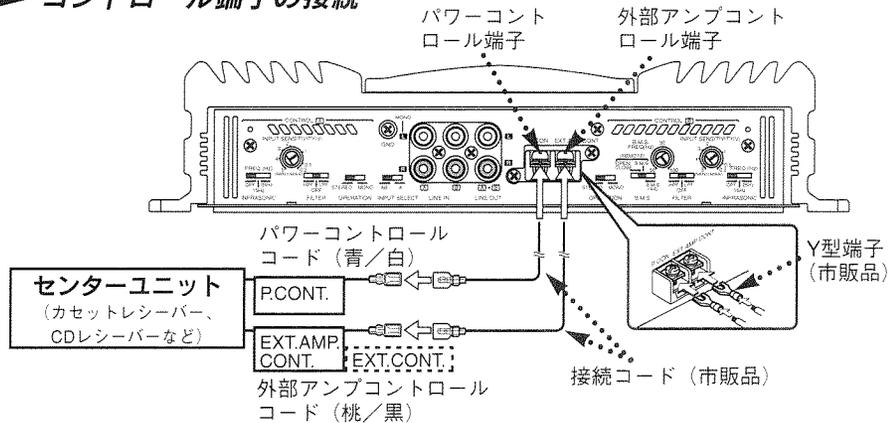
▶ 電源の接続



電源端子

付属の端子カバーに通した電源コードとアースコードを、それぞれの端子に接続します。接続が終わったら端子部に端子カバーをかけます。

▶ コントロール端子の接続



コントロール端子

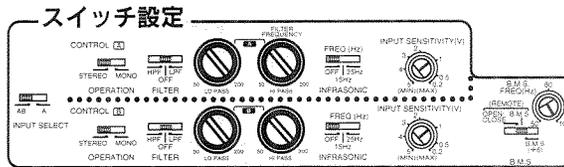
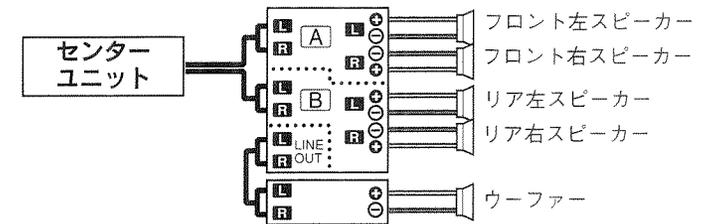
市販品の車載用配線ケーブルに接続端子を取り付けて、本機に接続して下さい。

アドバイス

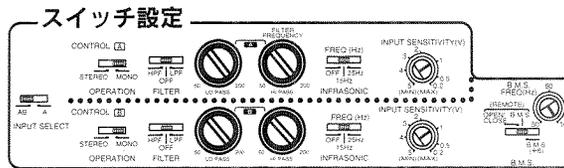
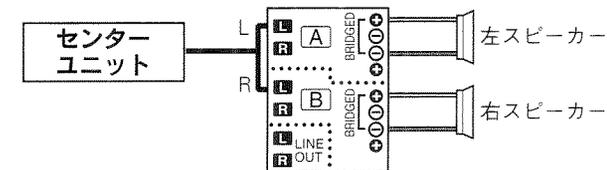
外部アンプコントロールは、1999年以降発売のケンウッド製センターユニットで"EXT.AMP.CONT./EXT.CONT."端子が付いている機種のみ接続できます。また、同時に最大3台までのパワーアンプを操作することができます。(配線ケーブルの種類や長さにより操作できない場合があります。)

システム例

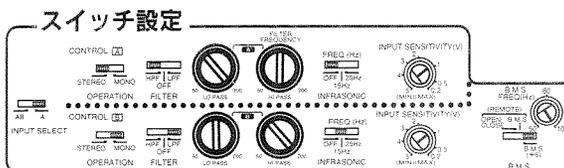
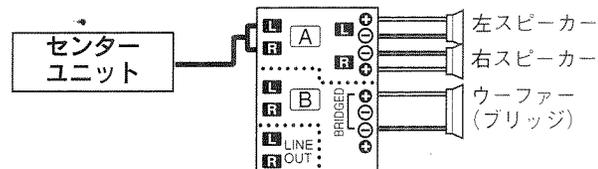
▶ フルレンジ 4チャンネル+サブウーファー システム



▶ ハイパワー フルレンジ 2チャンネル システム



▶ ハイパス+サブウーファー システム



故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼されるまえに、下記のようなチェックを行ってください。

こんなとき	どうして	こうします
音が出ない (片側の音が出ない) (ブツブツ音がし、 正常に音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> 入出力ケーブルが外れている。 プロテクション機能が働いている。 音量が大きすぎてヒューズが切れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 入出力ケーブルの接続を確認してください。 “インジケーター”を参照して接続を確認してください。 新しいヒューズに交換し、音量を少し小さくしてください。
音が小さい(大きい)	入力感度調整ツマミが正しく設定されていない。	“操作方法”を参照して正しく設定してください。
音質が悪い (音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されていない。 スピーカーコードが車両のネジにかみ込んでいる。 切り替えスイッチの設定が間違えている。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーコードと端子の極性を正しく接続してください。 スピーカーコードの配線を確認してください。 “操作方法”“システム例”を参照して正しく設定してください。
スライドパネルが勝手に動く	<ul style="list-style-type: none"> デモモードになっている。 リモート動作になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> オープン/クローズボタンを押しデモモードを解除して下さい。 “B.M.S.”を参照しリモートまたは手で操作して下さい。
外部アンブレントロールが(B.M.S.)が動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> B.M.S.スイッチがB.M.S.(+6)に設定している。 外部アンブレントロールコードが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> B.M.S.スイッチを(REMOTE)に設定してください。 外部アンブレントロールコードの接続を確認してください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。